

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	子ども家庭支援論 Ⅲ-6-3-5		教員氏名	岡田啓子		
学年	2年		開講学期	後期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	発達相談員（公認心理師）	10年	
テーマ	家庭支援が必要とされる社会文化的背景を理解し、具体的な支援方法を考える視点を身に付ける。					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身に付ける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	<p>少子高齢化や核家族化の進行、地域社会とのつながりの希薄化など、今日の子育て家庭は子どもの祖父母世代環境とは大きく変化した。こうした社会環境において、保育者による家庭支援は子育て家庭を支える社会的資源として重要な意義を有する。</p> <p>授業では、子育て家庭を取り巻く様々な問題を提示し、子ども家庭支援が子どもの育ちに対して持つ意義と必要性を理解する。そして、映像資料や事例検討により具体的な支援方法を考え、調べ学習や発表を行うことで、意見交流をしながら現場に即した実践力を身に付ける。また、担当教員がもつ実務経験(発達相談員として保健センターに勤務)を生かした解説を通して、多様な家庭に向けての支援のあり方を考察し、討議できるようにすることを目標とする。</p>					
授業の 到達目標	<p>1 子育てをしている家庭の機能と家庭を取り巻く環境について説明できる。</p> <p>2 子育て家庭への支援に関する理解を深めるために、授業内でのプレゼンテーションやディスカッションにおいて積極的な意見交流ができる。</p> <p>3 多様な背景を持つ子育て家庭のニーズに応じた細やかな支援を展開できる。</p>					
テキスト	『シードブック 子ども家庭支援論 2019年度新保育士養成課程対応』 松村和子編著 建帛社					
参考書	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする					
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0	定期試験期間での試験は実施しない			
	授業内課題 ・発表等	55	授業内での課題提出及び発表(個人);35% 授業内での課題発表(グループ);20%			
	参加度・ 学習態度等	5	課題作成時の積極的な取り組み			
	その他	40	中間課題(知識確認&事例);15% 期末課題(知識確認&事例);25%			
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(授業概要・授業の進め方と注意事項) 子ども家庭支援の意義と機能	
	授業外学習	子ども家庭支援に関して、他の科目におけるこれまでの学びを振り返る。	210分
第2回	テーマ 内容	子ども家庭支援における保育士等の社会的資源がもつ役割	
	授業外学習	家庭の機能について、厚生省や厚生労働省の資料を根拠として時代による変化をまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	子ども家庭支援において求められる基本的態度	
	授業外学習	保育所保育指針における保育園の家庭支援の役割と機能について調べる。	210分
第4回	テーマ 内容	保育の特性と保育士の専門性を生かした支援	
	授業外学習	授業で視聴したDVDをもとに、ワンオペ育児が保護者にもたらす問題について自分なりの考察をまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	保護者との相互理解と信頼関係の形成(バイスティックの7原則)	
	授業外学習	授業で視聴したDVDおよび事例をもとに、保護者との信頼関係の形成についてまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	医療ケア児や発達に課題のある子どもの支援①	
	授業外学習	視聴したDVDをもとに、ケアの必要な子どもをもつ保護者への支援や課題について調べる。	210分
第7回	テーマ 内容	中間課題/医療ケア児や発達に課題のある子どもの支援②	
	授業外学習	1～7回までの授業を振り返り、テキストをまとめる。 保護者の受容の過程に関して、事例を読み、保護者の揺れに沿うことや必要な支援とは何かを整理する	210分
第8回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション準備(1):居住地における子育て支援について調べ、スライドおよび原稿を作成する	
	授業外学習	個々が興味のある社会的資源について簡潔にまとめたものを授業前に準備し、グループ内でのテーマ決めの資料を用意する。	210分
第9回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション準備(2):居住地における子育て支援について調べ、スライドおよび原稿を作成する	
	授業外学習	決定したテーマに基づき資料の収集、発表スライドや原稿を完成させる	210分

第10回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(1):居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外学習	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめ、フィードバックを行う。	210分
第11回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(1):居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外学習	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめ、フィードバックを行う。	210分
第12回	テーマ 内容	プレゼンテーションの総括:得られたフィードバックをもとに、自分たちのグループの発表について振り返りを行う。	
	授業外学習	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめる。	210分
第13回	テーマ 内容	総括 再考:子ども家庭支援における保育士等の役割/期末課題	
	授業外学習	シラバスに書かれている到達目標について自己点検を行い、自身の学びを振り返る。	210分

#### 課題に対するフィードバックの方法

中間・期末課題における知識部分については授業内で振り返りを行う。  
グループ発表については、その場で教員や学生から質問を受け、その後の修正を行う。